6 軒天

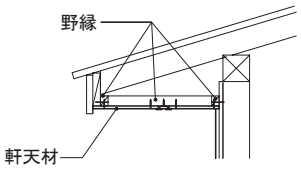
6－3 納まり詳細図

3）軒天12（軒天換気金物KBM1J2）標準施工法 QF030RS－0157

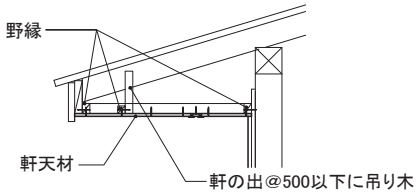
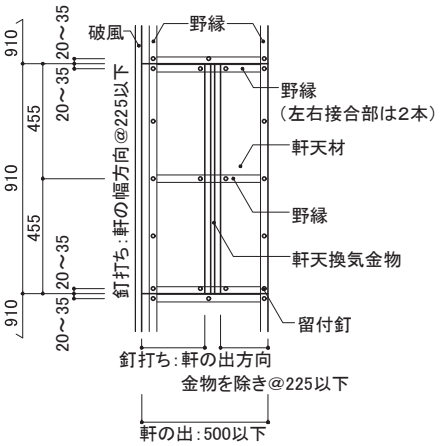
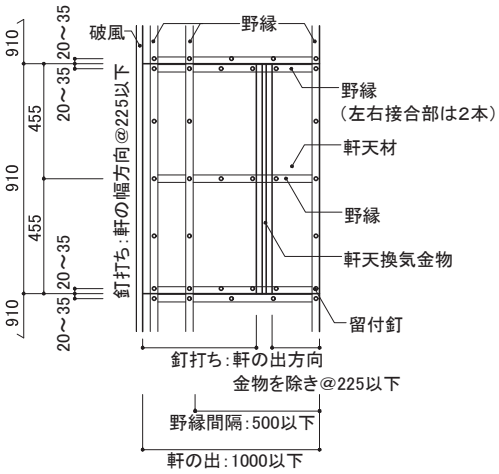
30分準耐火構造適合品／品番：KBM1J2 認定番号 軒裏：QF030RS－0157
※KBM1は非防耐火仕様品です。30分準耐火構造ではKBM1J2をご使用ください。
※軒天12以外の軒天材には認定が使用できません。
※軒天換気金物本体に塗装を施した場合は認定が適用できません。

●下地組みは、
野縁梯子組：軒の出方向は500㎜以下、幅方向は455㎜以下の間隔で野縁（30×40㎜以上）を組みます。
軒天材の左右接合部は野縁2本組みとします。
軒の出が500㎜を超える場合、軒の出@500㎜以下に吊り木（吊り木@1000㎜以下）で吊ります。
●下地の不陸は3㎜以下に調整します。
※ボルト頭や下地組みの不陸・ねじれなどは仕上がりに影響するばかりでなく、無理な施工から軒天材の破損をまねくおそれがあります。
●軒天材の切断はオールダイヤモンドチップソーを使用します。
●軒天材の留め付けは専用釘（ステンレスリング釘φ2．3㎜×38㎜）を用い、
野縁梯子組：軒天換気金物部を除き、軒の幅方向・出方向ともに225㎜以下の間隔で留め付けます。
●軒天材端部の釘打ち位置は端あき20～35㎜とします。
●軒天換気金物の取り付けには同梱の専用ビスを使用します。
●軒天換気金物が納まる部分は軒天材の下実を落とします。
●軒天換気金物を2本以上並べて取り付ける場合はエンドキャップを取り外します。
●軒天材の吹き付け塗装を行う場合、養生シートにビスが通る程度の切り込みを入れ、専用ビスで本体を野縁に取り付けます。取り付け後、養生シートの切り込みをテープでふさぎ、吹き付け塗装後、養生シートを剥がします。
※塩害のおそれのある場所（海岸から5km以内）では、錆が発生する場合があります。

軒の出が500㎜以下の場合



軒の出が500～1000㎜以下の場合
（防火認定上の規定）



野縁梯子組